

令和5年度 江戸川区立西小岩小学校 学校関係者評価 年度当初・中間報告書

| | | | |
|-------------------|---|----------------------------|--|
| 学校教育目標 | 考える子 やさしい子 健康な子 | 目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像 | ・どの子供も「学校が楽しい」と感じ、安心して学べる学校 ・主体的・対話的に学び、自他を尊重し合い、互いを大切にできる心豊かな子 ・温かさの中に厳しさも加味し、意欲と自覚・自律を促す、人間味あふれる教師 |
| 前年度までの学校経営上の成果と課題 | <成果>『協働的に学び、確かな読みの力を身に付ける子へすべての子が「わかった」「できた」と実感できる授業を通して～』を研究主題として、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた国語科における指導の推進を実践できた。コロナ禍における対応の中でも、落ち着いた学級・学校経営を図ることができた。 <課題>学力の向上(全国学力調査等含む)、教員一人一人の授業力向上、保護者の理解を十分得た特別支援教育の推進。 | | |

| 教育委員会重点課題 | <取組項目>・評価の視点 | 具体的な取組 | 数値目標 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | | 年度末に向けた改善策 |
|-------------------|---|---|--|------|----|---------|----|------------|
| | | | | 取組 | 成果 | を話すことは | 評価 | |
| 学力の向上 | <学力の向上> ・「誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン」の作成および実施し、その効果検証、教員の授業力向上 ・補習の実施などによる指導の充実、学習習慣の確立 ・各教科等の連携教育プログラムによる連携の充実 ・授業改善の推進、学習の基礎となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的対応による取組の実施・充実 | ・朝学習(ステップアップタイム)の計画的推進 ・東京ベシックドリルの繰り返し実施と診断テスト ・ミラシードのドリルパークなどで下学年の課題や、できそうな課題に取り組ませる。 ・外部委託業者による、算数に特化した放課後補習(2年生以上) 週1回実施 ・授業観察・・・年3回以上、研究授業(国語科)・・・年3回以上 | ・読解「話し方・聞き方名人」を提示し言語環境を整える。 ・「算数」が分かるようになった。の回答80%以上 ・東京、ベシックドリル年3回実施、7割通過率、全学年70%以上 ・「江戸川っ子study week !」でのドリルパーク実施率 70%以上 ・児童アンケート「授業はわかりやすいか」の肯定的回答70%以上 | | | | | |
| 学力の向上 | <読書科の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の充実 (読書科ノート等の活用、資料の収集の仕方や記録の取り方の指導、自己の考えをまとめ表現する方法の指導、朝読書と1単位時間の授業との関連付け、他教科との関連等) <外国語教育の推進> ・系統的指導とALTの効果的な活用 ・全学年で外国語活動を取り入れた学習内容の工夫 | ・「誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン」の作成および実施し、その効果検証、教員の授業力向上 ・読書科ノートの活用、資料の収集の仕方や記録の取り方の指導、自己の考えをまとめ表現する方法の指導、朝読書と1単位時間の授業との関連付け、他教科との関連等) ・専科教師による系統的な指導 ・イングリッシュ・デイ、イングリッシュ・wの取組 ・中学校区での連携(情報の共有) ・指導教諭によるOJT研修の充実 | ・探究的な学習としての読書科の取組で、全学年が「江戸川区読-る学習コンクール」へ応募 ・高学年を中心に「読書科コンクール」に全児童が応募 ・児童アンケート「本を読みたがらない」ことを減らすのが好きですかの肯定的回答90%以上 ・読書バッグに本・国語辞典を入れるなどして、いつでも手に取れるようにする。 | | | | | |
| 体力の向上 | <運動意欲や基礎体力の向上> ・健康な生活を送ろうとする児童の育成 ・人工芝を活かした取組の充実 <健康教育の推進> ・「いっしょの取組」の推進 | ・体育の授業や休み時間における全校運動遊びなど、主体的な運動の実施による運動意欲の向上 ・全校による「新体力テスト」の適切な実施(6月) ・誰でもできる運動遊びの紹介 | ・児童アンケートで、「体育の授業で頑張れた」「外遊びをしている」肯定的回答90%以上、実施率80% ・新体力テストでの全体でのポイントが1～2以上上回る。 ・運動委員会による「運動遊び」の紹介年1回以上 | | | | | |
| 共生社会の実現に向けた教育の推進 | <特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・メンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実 | ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・メンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の充実 ・SDGs17の取組の推進 | ・ユニバーサルデザインの視点を授業にしている教員100%(教員アンケート) ・ケース会議・支援会議の充実 月1回以上 ・副籍交流 年1回以上実施 ・SDGsの取組実施率100% | | | | | |
| 子供たちの健全育成 | <チルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用> ・外部機関との連携 ・SSWやSCを活用した取組 <子供たちの健全育成に向けた取組> ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hyspaer-QUの活用 | ・外部講師と連携を図り児童理解を深め市道に活かす。 ・体罰、児童虐待未然防止に向けた取組の充実 ・生活指導連絡会～毎週水曜日 ・身近な事例から考える、道徳授業の充実 ・道徳授業地区公開講座(10月)の実施 ・hyspaer-QUによる学年・クラスの実態調査 | ・児童アンケートで学校が楽しいと回答90%以上 ・道徳授業公開講座・・・年1回以上 ・hyspaer-QUの実施・・・年1回以上、研修会1回以上 | | | | | |
| 地域に広く開かれた学校(園)の実現 | <自校(園)の取組の積極的な発信> ・学校ホームページの充実等 ・学校公開の実施・充実 ・保護者連絡アプリ「etoru」による様々な案内の発信等 | ・学校ホームページの内容を検討し、校内の出来事を発信する。 ・学校公開・学校説明会の周知 | ・行事や出来事など、ホームページで毎日更新 ・年6回の学校公開等、2週間前に周知 ・クラス単位での学校通知発信(適宜) | | | | | |
| 特色ある教育の展開 | <全校俳句の取組> ・四季折々の季節感を言葉で表現できる児童の育成 <教科担任制による専門教科の授業> ・高学年の教科担任制導入による中学校へのスムーズな学習スタイルの移行 ・1年生からの算数習熟度別指導による授業の充実 | ・俳句作り全校が取り組み、感性を磨く。 ・校内俳句コーナーに掲示 ・俳句作りによる全校が取り組み、感性を磨く。 ・校内俳句コーナーに掲示 | ・児童アンケートで俳句作りが楽しい、季節を感じるようになったと回答80%以上 ・校内俳句表彰 年3回 | | | | | |
| 特色ある教育の展開 | <教科担任制による専門教科の授業> ・高学年の教科担任制導入による中学校へのスムーズな学習スタイルの移行 ・1年生からの算数習熟度別指導による授業の充実 | ・高学年を主とした教科担任制授業の効果・検証の実施 ・低学年の少人数指導の推進 | ・教科担任制についての効果検証アンケート 肯定的評価70%以上 | | | | | |